

# 令和5年度男鹿市一般会計補正予算（第11号）の概要について

令和6年2月27日  
(単位：千円)

## 一 予算規模

補正額		△346,851
補正後の規模		18,843,386
前年度3月補正(9号)後予算との対比		1,010,386

### 《補正予算の財源》

特定財源		△298,672
------	--	----------

国庫支出金	△167,565
県支出金	△42,333
繰入金	△25,699
市の債	△58,900
その他	△4,175

### 一般財源

市地方交付税	66,300
寄附金	61,397
繰入金	△46,416
諸収入	△172,921
その他	41,808
	1,653

△48,179

(参考) 財政調整基金現在高

2,078,155

## 二 補正予算の内容

今回の補正予算は、生活保護費、ふるさと納税返礼業務委託料などの決算見込みによる調整を図るとともに、早期に道路の舗装補修を行うための経費のほか、今後の臨時財政対策債の償還に充てるための減債基金積立金、将来的な教育施設の改修等に要する経費の一部に充てるための教育施設整備基金積立金などを計上した。

## (1) 減債基金積立金

44,055

今後の臨時財政対策債の償還に充てるため、減債基金積立を増額する。

- ・積立額 44,055千円
- ・管理状況 令和6年1月現在 525,214千円  
令和5年度末見込 569,269千円
- ・財源 一般財源、財産収入

## (2) 教育施設整備基金積立金

100,010

将来的な教育施設の改修等に要する経費の一部に充てるため、教育施設整備基金積立を増額する。

- ・積立額 100,010千円
- ・管理状況 令和6年1月現在 324,769千円  
令和5年度末見込 444,517千円
- ・財源 一般財源、財産収入

### (3) 地籍調査事業

11,384

国の補正予算採択に伴い、令和6年度に予定していた船越地区の地籍調査を令和5年度事業とし、翌年度に繰り越して実施する。

- ・ 調査地区 船越字船越、寺後の各一部
- ・ 地籍測量 0.13km<sup>2</sup>
- ・ 財 源 県支出金、一般財源

### (4) ⑧ 戸籍附票システム改修業務（振り仮名仮登録、旧氏記載）

2,464

氏名の振り仮名記載の法制化による戸籍附票システム改修（R5.12月補正、第7号）に加え、住民基本台帳ネットワークシステムから氏名の振り仮名を収集し「仮の振り仮名」として登録するための機能と、旧氏及び旧氏の振り仮名の記載事項を追加するための機能を整備する。

- ・ 事業内容 戸籍附票システム改修業務
  - ①振り仮名仮登録 1,111千円
  - ②旧氏記載 1,353千円
- ・ 財 源 国庫支出金

**(5)道路補修工事費** 50,000

早期に道路舗装の補修を行い、道路利用者の安全と民生の安定を図る。

- ・事業内容 道路補修工事 50,000千円
- ・財 源 一般財源

**(6)主な事業の決算見込みによる減額補正**

**①生活保護費** △97,901

被保護者数の減少などによる減額。

**②児童扶養手当費** △13,621

対象者数の減少などによる減額。

**③ふるさと納税返礼業務** △43,050

歳入 △50,000千円 (当初400,000千円→補正後350,000千円)

歳出 △43,050千円 (当初272,185千円→補正後229,135千円)